

1 開催日時等

(1) 日時 平成31年3月22日(金) 午後2時30分～午後4時30分

(2) 場所 ウィンクあいち 18階 セミナールーム

(3) 出席者

【企業】

中村 正 トヨタ自動車(株) ITS・コネクティッド統括部 ITS推進室 室長
清水 克正 アイシン精機(株) 走行安全企画部 主担当
白石 恭裕 三菱自動車工業(株) 車両技術開発本部チーフテクノロジーエンジニア
坂 要一郎 (株)デンソー モビリティシステム企画部 担当部長
松永 栄樹 (株)アドヴィックス 人事部 人材開発室

【大学】

武田 一哉 名古屋大学 大学院情報学研究科知能システム学専攻 教授

【行政】

国土交通省中部運輸局

豊田市

愛知県知事 大村 秀章(挨拶後に退席)

愛知県産業労働部、振興部、県民文化部、建設部

愛知県警察本部

【講師】

松尾 幸二郎 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教

水野 幸治 名古屋大学 大学院工学研究科機械システム工学専攻 教授

2 議事概要

- 大村知事挨拶の後、事務局及びメンバーから、今年度のプロジェクトチームの取組成果及び関連の取組について報告を行った。
- 成果報告等の後、意見交換を行った。主な発言は以下のとおり。

【主な発言・報告】

- トヨタ自動車(株) 中村氏

プローブデータの分析から、直接現地に出向いての調査・対策検討をしていることに頼もしさを感じる。生活道路に着目しているとのことだが、イメージハンプ、狭窄化やドットをつける等の対策に取り組まれているのか？

- 愛知県産業振興課 藤井主幹

3年計画で取り組む予定であり、今年度に対策箇所の選定を行う。平成31年度に対策を実施する。平成32年度に効果検証を行う予定である。

● アイシン精機(株) 清水氏

事故分析WGに参加している。今年度は交差点での右左折時の事故に関して分析を行った。タクシー運転手は細心の注意を払いながらも事故を起こしている。弊社のドライバーモニターシステムを使用してタクシー運転手の顔向きや視線が観察できると、どこに注意していて事故に至ったのか理由が判るので、良いと思った。また、ドライブシミュレーターで事故を再現しているのは、人のばらつきが把握できるので、良い取組であると思った。県警の発表で昨年4月の交通死亡事故者が前年比で大幅増とのことだが、この理由を深堀出来ると、事故低減につながるヒントが得られるので良いと思った。

● 三菱自動車工業(株) 白石氏

先日、軽自動車に高速道路での同一車線運転支援技術であるマイパイロットを導入した。軽自動車など販売台数の多い車種で安全技術を広めていきたい。

● アドヴィックス(株) 松永氏

事故分析WGの取組で衝突被害軽減ブレーキの有効性を証明できた。愛知県内では車線数の多い道路が多く、交差点に高車速で進入してくる車への対策が課題である。この課題を社内に持ち帰り、社内でのブレーキ開発に役立てたい。

● 名古屋大学 武田先生

事故分析、プローブWGの取組に注目している。両WG共限られたサンプリングの中で有効な分析が難しいかと感じた。事故分析では、ドライバー側の状態についても分析が出来ると良いと思った。統合的な分析を行って具体的な施策に落とし込むのは難しいと感じる反面、より広範囲なプローブ情報と事故分析を統合して分析できると良い。

● 中部運輸局 梅藤氏

平成30年度に自動運転の係長が新設された。平成31年度に自動運転の技術的構造を検証する専門官を増員する。自動車メーカーの不正を監視する職員を増員。自動運転は関東地域も含めて取組んでいる。サポカーの普及啓発運動をPTと連動して行っており、引き続き普及啓発活動を行っていきたい。

● 豊田市 中根氏

事故は幹線道路で多いが生活道路に関連付けると、市役所の役割が大きくなる。事故の対策と予防という観点で道路対策を進めていく。

● 愛知県振興部 金田次長

振興部ではITSに関して、あいちITS推進協議会を通じて自動車安全技術の普及啓発に努めている。あいちITS推進協議会を所管している交通対策課は4月より振興部から都市整備局に移り、引き続きITSの普及啓発に努めていく。

● 県民文化部 酒井地域安全監

自動車安全技術の進歩は日進月歩で進んでいる。県民文化部としては県民への広報啓発活動を所管しているので、県民に対して自動車安全技術の情報発信を通じて普及啓発活動を行っていききたい。